

## MICE 市場トピックス（1月）

毎月、海外の複数市場について、JNTO 海外事務所が収集した MICE 関連の状況やトピックスをご紹介します。

- ① **MICE 関連の旅行会社や関係団体の動向**
- ② **MICE 関連の訪日意欲の有無・変化**
- ③ **イベント開催の有無とその感染症対策**
- ④ **その他の特記すべきトピックス、ニュース**（特筆する情報がない場合は、当該番号に「なし」と記載しています。）

本情報の転送や媒体掲載はご遠慮ください。※2021年1月末時点の情報です。

### 【台湾市場】

- ① 現地の旅行会社は日本の自治体を実施するオンライン商談会には出席している。往来再開後は団体ではなく少人数グループでのツアーが予想されるため、少人数向けの車両手配の商談等はしているが、まだ往来再開の見込みが立たない中、MICE に限らず旅行会社の海外旅行部門が現在行っている業務は、ホテルやレストランの在庫管理程度となっている。台湾政府からは、ワクチン接種が進み感染が抑えられたらという条件付きで、日台の往来は 2021 年末に期待するとの発言があった。
- ② なし
- ③ 1 月に入り、台北の桃園国際空港に近いエリアの病院で院内感染が発生し、その関係者間で域内感染が 20 名出たため、感染の可能性のある約 5,000 名が自宅隔離や再検査等の対象者になり、台湾では過去最大の隔離措置となっている。台湾政府からは、「完璧な防疫ができないイベントの中止・延期を強く提案する」という指示が出され、旧正月の大きなイベントやライブ、スポーツイベント等の延期・中止が決定、政府機関や企業により毎年盛大に行われる忘年会も中止や縮小、オンライン化された。2 月からは、新幹線及び台湾鉄道、長距離バス、船舶、域内線航空機等の交通機関に加え、郵便局の営業エリア等での飲食が再び禁止になり、旧正月期間中（2/12～16）はテーマパーク等で最大 50%の入場規制がなされている。
- ④ 現在、台湾側の旅行会社からは、日本側自治体等からの補助金や支援プログラムの情報が求められている。日本の制度は申請方法が複雑なものが多いのでできるだけシンプルにしてほしいとのこと。また、ポストコロナに適合する新しいインセンティブ旅行のコンテンツについての情報も求められている。

### 【中国市場（北京事務所管轄エリア）】

- ① 1 月に北京事務所管轄の大手旅行会社 36 社を対象としたアンケート調査を実施したところ、現在、旅行業務の取り扱いがあると回答した会社は 36 社中 31 社だった。また、企業の社員旅行の取り扱いがあると回答したのは 36 社中 15 社、会議手配の取り扱いがあると回答したのは 36 社中 25 社だった。2020 年秋以降のコロナ禍における取り扱い業種は、保険会社 14、自動車メーカー 2、IT 1、医療機器・製薬 16、製造業 2、デジタル技術 1、金融 3、不動産 1、ネットワーク 1、微商（WeChat を利用したマイクロビジネス）3、政府関連 5、その他 2、であった。
- ② 12 月より中国本土で感染者が出てきたことにより、感染防止策が強化され、都市間の移動が難しくなったため直近の中国内 MICE については中止もしくは延期となっている。
- ③ 中国本土で感染者が出てきたことにより、感染防止施策が各地で厳しくなっている状況。基本的な感染防止ガイドラインに変更はないが、北京市政府は市民に対し、人の流れを減らし、不必要な出国をしない、不必要に北京市を出ないように呼びかけを行った。また中国疾病予防コントロールセンターは 12 月 21 日にできるだけ人が集まる活動を減らし、家族などの集まりや食事等は 10 人以下とし、人が集まる場所でのマスク着用等を呼び掛けた。1 月 28 日より 3 月 15 日まで、中国国内低リスク地域から北京に入る場合は到着前 7 日以内の PCR 検査証明と、北京へ入った後 2 回の PCR 検査及び 14 日間の健康観察が必要となった。
- ④ 現地旅行会社のヒアリングによると、日本側への要望として、コロナの影響で、日本のランドオペレーターやホテル、レスト

ラン等が倒産や閉店するなど観光業界に大きな変化があったと思われるので、日中観光往来の再開後の取引ために、状況を把握したい。また、オフラインのプロモーション活動は難しいので、オンラインで日本の地方の新しい観光資源について情報を得たい。コロナが終わったら、訪日旅行をいち早く回復させるために視察旅行を企画してほしいとの声が寄せられた。

### 【インド市場】

- ① 1月16日からインド国内でコロナウイルスのワクチン接種が始まった。インドは他国と比べて予防接種の開始が遅れると予測されていたため、早期の接種開始は非常にポジティブなニュースとして受け入れられ、消費意欲が向上していることを受け、旅行会社も積極的に活動を再開している。JNTO デリリー事務所に対して、コロナ禍においてはほとんど MICE 関連イベントやウェビナー等の案内や依頼はなかったが、最近になって MICE 関連のオンラインイベントや MILT (MICE India & Luxury Travel Congress) の開催について連絡があり、旅行業界の動きが活発になりつつある。
- ② インド国内では、日本の緊急事態宣言についてはあまり報道されておらず、いつから訪日できるかという問い合わせは、多くの旅行会社から寄せられている。コロナ発生からすでに日本に行先を決定していた企業のインセンティブ旅行については、2021年夏に延期されたが、状況によってはアブダビ等の他国に渡航先に変更することも検討されている。
- ③ 2月1日から規制措置が緩和され、社交・宗教・スポーツ・娯楽・教育学習・文化に関する屋内での集まりは、これまでは許容人数を200人までとしていたが、2月以降は地域政府に規定を委ねられる。映画館・劇場・スイミングプール・展示場の営業も、担当する省庁のガイドラインに沿って制限を緩和する。展示場は昨年10月からBtoB目的のみ使用可能となっている。
- ④ コロナ感染拡大の影響で、2020年は中止になった MILT (MICE India & Luxury Travel Congress) は、2021年7月28、29日にムンバイで、8月4、5日はベンガルールで開催予定。

### 【米国市場（ニューヨーク事務所管轄エリア）】

- ⑤ なし
- ⑥ インセンティブ旅行のプランナーからのヒアリングによると、インセンティブ旅行と会議旅行は2022年の第2四半期まで新しい契約が締結されることはほぼないと想定されている。一部のプランナーは、2021年に実施できない分、2022年に旅行が急増すると考えており、クライアントに対して現時点で先んじて2022年の会場を予約することを勧めている状況だ。コンベンションや会議旅行とは異なり、インセンティブ旅行のプランナーは、オンラインで実施されるバーチャル旅行や金銭的なインセンティブが、実際のインセンティブ旅行の代替になるとは考えていない。彼らはクライアントに対して、インセンティブ旅行は従業員をやる気にさせる最良の方法であると説得しており、バーチャル旅行や旅行以外のインセンティブを売り込むことは、インセンティブ旅行のビジネスモデルを損なうと懸念している。
- ⑦ 米国内での対面イベントは2021年内に実施できるという楽観的な見方がある。対面でのイベントは、コロナの症例が大幅に減少し、人口の50%以上にワクチンが配布されるなどの要因に応じて実施されると思われる。
- ⑧ なし

### 【スペイン市場】

- ① 多くの MICE 専門の旅行会社では、レイオフ状態または契約社員の解雇等が日常的に続いているため、ビジネス旅行の再開は今のところ目途が立たないという状況である。現地の観光専門ビジネススクールのオステレア・ツーリズム・マネージメント・スクールの専門家であるエルサ・ソロ女史によると、ポストコロナの MICE イメージとして、ホログラフィー、ロボット、AI、VR、そしてオンライン上で様々な会議場にいる参加者が同時に国際会議やイベントを行うといったハイテク技術の活用や、ハイブリッド形式での参加が当たり前になることが予想されている。また、MICE 専門家のフェリペ・レジェス氏も、今後のイベントは全てハイブリッド化されることが当然となり、そうすれば、開催日や時間帯に縛られることなくオンラ

イン形式で複数の催しに参加できることが最大のメリットであると述べている。

- ② 現時点においてそれ程変化は見られず、訪日意欲は高い。MICE だけではなくホールセラーへのヒアリングでも、訪日旅行の再開可能時期について必ず質問される。特に、東京五輪の開催や衛生面における安全対策などに対して関心を持っている。
- ③ 毎年1月に開催されるホセ・マリア・フォルケ映画賞の授賞式が、2020年度初の参加型の大型リアルイベントとして開催され、スペインの国営放送局 RTVE でゴールデンタイムに放映された。入場者を制限し、出席者全員にPCR検査を義務付け、会場内のソーシャル・ディスタンスを保つことやマスク着用などの万全な安全衛生管理を整え、現地の著名人や映画俳優を集めた。イベントはマドリードの国際会議場で開催され、クラスターの発生もなく無事成功したと報道されている。
- ④ JNTO が配信した訪日 MICE のプレスリリースが、スペインの観光業専門媒体に掲載された。「コロナ禍で再開する日本のイベント」という題で、イベント再開の事例やその状況、「3密」を避けるための安全対策や徹底した衛生管理などが、現地メディアでも強調されている。また、成功例として2020年後半に日本で開催された主な国際会議や見本市（沖縄で開催されたツーリズム・エキスポ・ジャパン、IJK 神戸国際宝飾展、日本で初めて開催された ICCA アジア太平洋サミットなど）は、感染もなく無事成功に終わったと掲載されている。

転載禁止 (©JNTO)

<JNTO 担当部署> MICE プロモーション部 TEL : 03-5369-6015 E-mail : convention@jnto.go.jp